

書画で日中をつなぐワークショップ ～美術・書道の異文化交流を備えたグローバル中国文化研修～

●はじめに

2018年10月31日から11月9日までの10日間で美術・書道専攻（院生を含む）15名、教員3名の計18名で中国は、天津・唐山・北京への文化研修に参加した。本場中国書道や中国の美術に触れたり、中国の学生と交流したりするなど様々な体験ができた。



●活動内容

天津大学では現地講師の崔先生からは書法講座、劉先生から水墨画の実演による講座を受けることができた。日本では学ぶことのできない中国書法の習得などの貴重な経験を通して、書に対する新たな考えを持つきっかけとなった。また、万里の長城や独楽寺、古文化街などの見学を通して中国・天津の歴史や文化に触れることができた。唐山では、陳先生をはじめとする現地の方々が中日青少年交流大会を主催してくださった。中国語でコミュニケーションをとることは難しかったが、全員が揮毫会に参加し表情や身ぶりで見通すことで学生間の交流を深めることができた。北京では故宮博物館を見学し、日本では見られない建物や石鼓文などの収蔵品を目にし、中国の壮大な歴史を感じることもできた。

～天津～

○天津大学の講座及び交流



○万里の長城



○古文化街見学



～唐山～

○唐山師範大学との交流



○胥各庄小学校との交流



○中日青少年交流大会



～北京～

○故宮博物院



～中華料理～



●終わりに

中国文化研修を通して中国の芸術に触れたり、現地の方々との交流を経験したことで多くのことを学んだ。この経験を今後の活動に活かし、更なる向上を目指そうと思う。最後に今回の活動をサポートしてくださった先生方々や中国の方々に心から感謝し、グローバルの観点から芸術を追求していきたい。